

# 矢口の渡・歌舞伎ふるさとまつり開催

平成二十七年九月二十七日(日)大田区民プラザにて「矢口の渡・歌舞伎ふるさとまつり」が開催されます。今号で取り上げた矢口渡を舞台とした歌舞伎「神霊矢口渡」の上演のほか、特色のある地域の催しを多数開催いたします。是非この機会に、地域の伝統文化を体感してみませんか。

## 蒲田西特別出張所管内

人口	男	31,835人
	女	29,371人
	計	61,206人
世帯	34,152世帯	

平成27年8月1日現在

## 新特別出張所長 就任あいさつ

七月一日から、蒲田西特別出張所長に就任しました榎田隆一(えのきだ りゅういち)と申します。出張所は、千束、蒲田東に続き三か所目です。蒲田東では出張所長も経験しましたが、十年以上前で、地域も異なるので、早く蒲田西地区に溶け込むよう努める所存です。

特別出張所は、戸籍や住民票などの窓口である一方、区行政の窓口でもあります。区の施策や区政の動きをお知らせするばかりでなく、地域の情報や要望等を吸い上げて区の施策に反映する、双方の役割を担っております。この意味で、地域の皆様の公私にわたる活動のお手伝いをさせていただきます。

また、今年度は、五年に一度の国勢調査や今号で取り上げた「神霊矢口渡」の公演もございます。今後も皆様と連携して、蒲田西地区の発展と活性化のため、取り組みたいと考えております。

かまにし17をお読みいただき、ありがとうございます。情報紙に対するご意見やご感想、または投稿などございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。

事務局 蒲田西特別出張所  
大田区西蒲田七十一-二一七  
(三七三二)四七八五

- 11時00分 矢口ソラン(矢口小・ひびき会)
- 11時40分 和太鼓(荏原流れ太鼓ひびき会)
- 12時10分 阿波踊り(大田区役所くすのき連)
- 12時40分 日本舞踊「長唄・多摩川」(花月流家元・花月祐里)
- 13時00分 休憩(席入れ替え)
- 13時20分 記念式典(区長、地区連合会長)
- 13時40分 歌舞伎の説明・解説
- 14時00分 歌舞伎「神霊矢口渡」(秩父歌舞伎正和会)
- 15時10分 閉会

【地下小ホール】 演目予定

- 10時00分 開会
- 10時15分 阿波踊り(大田区役所くすのき連)
- 11時00分 生け花パフォーマンス(東京実業高校華道・茶道部)
- 11時45分 民謡(及川清峰)
- 12時30分 お囃子(多摩川諏訪囃子)
- 13時15分 津軽三味線(工藤照仙と鳥保会)
- 14時00分 DVD歌舞伎「神霊矢口渡」(秩父歌舞伎正和会)
- 15時15分 民謡(梅々井冠慧とIMA1民謡ボランティアクラブ)
- 16時00分 閉会

【地下展示室】 展示予定

- 馬込と大田区の歴史を保存する会(浮世絵等展示)
- 多摩川図書館(地域の歴史を学べる資料等展示)
- 地域情報誌「矢口トーク」「かまにし17」展示
- 花とみどりのまちづくり ○六郷用水の会
- 呑川の会 ○神霊矢口渡関連資料
- 東京実業高校華道・茶道部(お茶とお菓子の接待)
- 地区青少年対による模擬店(三ッ給馬や助六寿司)
- 安方神社氏子青年会による子ども遊び等...

【その他】

- 新田義興ゆかりの地を巡るウォーキング(行程約3km) 午前(10時~11時半)と午後(13時~14時半) 2回実施 定員各30名

(※予定は変更になる場合がございます。)

### ※事前予約が必要な催しについて

○歌舞伎「神霊矢口渡」(1階大ホール)  
○新田義興ゆかりの地を巡るウォーキング  
この2つの催しは予約が必要ですが、町内回覧で周知のとおり、8月末で予約を一旦締め切らせていただいております。  
現在の空き状況等については、ページ左下の事務局までお問い合わせください。  
○どちらの催しも料金は無料です。

## 『神霊矢口渡』

### 歌舞伎上演が決まる

本紙第四十七号(平成二十五年三月一日発行)で紹介した浄瑠璃『神霊矢口渡』の歌舞伎公演が決定した。『神霊矢口渡』とは十四世紀(南北朝時代)、新田義興の謀殺事件と後に書かれた軍記物語「太平記」を下書きにした浄瑠璃作品で、後に歌舞伎化され全国で公演されるようになった。

『矢口渡』が実際にモデルとなった事件の時代背景を、ごく簡略に説明しておく。

南北朝時代とは一三三六年(延元元年・建武三年)に即位した光明天皇と、吉野に転居した後醍醐天皇により朝廷が分裂し、南朝(大和国吉野)と北朝(山城国平安京)に二つの朝廷がそれぞれ正当性を主張し抗争をつづけたが、一三九二年(元中九年・明德三年)に合一するまでの五十数年の時代をいう。この間、全国の武将が南朝方、北朝方に付き、各地で戦いを繰り広げた。

新田義興の父・新田義貞は関東を代表する源氏の武将で、後醍醐天皇を奉じ、南朝官軍総大将に任

命された。一方、光明天皇により征夷大將軍に任命された北朝方の総大将は同じく源氏を祖とする足利尊氏であった。

父・義貞の戦死後、新田義興は鎌倉奪還のため鎌倉を目指す。関東管領・畠山国安と配下の竹沢右京亮、江戸遠江守等の策謀により矢口渡で戦死した。

策謀とは、渡し船の船頭を買収し、あらかじめ義興主従の乗る船の底に穴をあけ、木栓で塞ぎ隠し、船が川の中央にさしかかった時に船頭が川に飛び込み、底の栓を抜きとった。兩岸に潜んでいた兵士たちが一斉に矢を放ち、義興は憤怒のうちに自刃して果てた。

金に目がくらみ策謀に加担した船頭の名が「頓兵衛」であった。

江戸遠江守と竹沢右京亮も報償として数カ所の恩賞地を拝領したが、江戸遠江守は義興の怨霊により狂死。畠山、竹沢も諸所流浪の末に死亡した。また、矢口渡付近にはたびたび義興の怨霊が雷火となって害を及ぼした。そのため住民が義興の霊を慰めるために神と

して祀ったという記述が『太平記』にある。

新田神社社殿の後ろにある小丘は義興を祀った塚と言われている。

歌舞伎『神霊矢口渡』の内容を、誰にでも解り易く描いたマンガを、次ページに紹介します。

引用 いまいかおる著「歌舞伎筋立て・見せ場がひと目でわかる本」KKロングセラーズさんの御好意により掲載しました。

当日のイベントについては四面で紹介いたします。



版画・『神霊矢口渡』豊原国周作 明治十六年「馬込と大田区の歴史を保存する会」所蔵

# かまにし

第57号

発行 地域力推進蒲田西地区委員会  
編集 地域情報紙編集委員会

